

【令和6年4月版】医療コンテナの社会実装に向けた取組

- 医療コンテナの社会実装に向けては、医療コンテナの導入、平常時の運用、災害時の活用について、考え方や手順を整理するとともに、医療コンテナに深く関わることが想定される医療関係者や自治体職員に対し、事例や実態を周知することが重要。
- これまでに、『医療コンテナの活用に関する手引き』を公表するなど、順次対応してきたところであり、引き続き、関係省庁をはじめ、業界や学識経験者とも連携し、社会実装に向けた取組を積み重ねる。(赤字は課題、青字は対応中、黒字は対応済)

	導入・平常時の運用	災害時の活用
考え方や手順の整理が必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> 保有者 導入方法(購入、リース等) 導入時の国費負担(補助) 診療所の開設(医療法) 設置時(建築基準法・消防法) 機器搭載時(電波法) 運搬時(道路交通法・道路法) 稼働時(廃掃法) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療計画への位置づけ 活用方法 保健医療福祉調整本部でのオペレーション 保有者との協定 運搬事業者との協定 活用時の役割分担 活用時の責任分担
うち、実証を要するもの	<ul style="list-style-type: none"> 運用(医療施設として) 搭載機器の習熟方法 医療従事者の研修 運搬方法 梱包方法 	<ul style="list-style-type: none"> 活用(災害医療として) 活用訓練 災害派遣医療チームとの連携 運搬方法 梱包方法
事例や実態の周知が必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> 保有状況 種類や仕様の違い 導入方法(購入、リース等) 導入費用 運用方法(医療施設として) 運用費用 	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理の内容(定期検査) 維持管理費用 運搬手段の手配 配置レイアウト
		<ul style="list-style-type: none"> 配置レイアウト <p>※黄色マーカーの事項は、令和6年能登半島地震において、実施した事項</p>

○上記のほか、注視する取組

- ODAなどを活用した海外展開の状況
- 医療コンテナ関連企業の動向
- 災害医学会など学術的な知見

※ ここに記載した項目は、資料作成時点(令和6年4月)のものであり、取組の進展等により、追加・削除・変更等があり得る。